

注3

大学番号：010

[平成30年度設置]

事前伺い

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更

注1

東北大学 大学院教育学研究科 総合教育科学専攻

注2

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人東北大学
令和2年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部法務・コンプライアンス課

職名・氏名 課長 ^{スガワラ}菅原 ^{タカシ}隆
法規係長 ^{クドウ}工藤 ^{ジュンペイ}淳平

電話番号 022-217-4809

（夜間） 022-217-4809

F A X 022-217-6068

e-mail hosei@grp.tohoku.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・大学の設置の場合：「〇〇大学」

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和2年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学研究科

＜総合教育科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	9
4. 既設大学等の状況	10
5. 教員組織の状況	15
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人東北大学

(2) 大学名

東北大学大学院

(3) 調査対象大学等の位置

〒980-8576
宮城県仙台市青葉区川内27番1号
(〒980-8577
宮城県仙台市青葉区片平2丁目1番1号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(オオノ ヒデオ) 大野 英男 (平成30年4月)		
研究科長	(クドウ ヨシフミ) 工藤 与志文 (平成29年4月)	(ヤクワ トモヒロ) 八鍬 友広 (平成31年4月)	任期満了のため平成31年4月1日付けで変更(元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和元年度に報告済の内容 → (元)
令和2年度に報告する内容 → (2)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成28年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学研究科 総合教育科学専攻 (博士後期課程) 博士(教育学) 博士(教育情報学)	教育学・保育 学関係	3年	15人	年次 人	45人	基礎となる学部等 教育学部

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成30年度		令和元年度		令和2年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	15 (-) [-]	-	15 (-) [-]	-	15 (-) [-]	-	1.20倍	-	
志願者数	34 (-) [3]	- (-) [-]	21 (-) [3]	- (-) [-]	21 (-) [3]	- (-) [-]			
受験者数	34 (-) [3]	- (-) [-]	21 (-) [3]	- (-) [-]	21 (-) [3]	- (-) [-]			
合格者数	27 (-) [3]	- (-) [-]	13 (-) [1]	- (-) [-]	16 (-) [2]	- (-) [-]			
B 入学者数	27 (-) [3]	- (-) [-]	12 (-) [1]	- (-) [-]	15 (-) [2]	- (-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.80		0.80		1.00				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		備 考
	平成30年度		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	27 [3] (-)	- [-] (-)	12 [1] (-)	- [-] (-)	15 [2] (-)	- [-] (-)	平成30年度入学者のうち1名が、在学中に在留資格を「留学」に変更。
2年次	/		27 [4] (-)	- [-] (-)	12 [1] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		/		26 [3] (-)	- [-] (-)	
計	27 [3] (-)		39 [5] (-)		53 [6] (-)		

・ 令和2年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学生数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	27 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	39 人	0 人	平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
令和2年度	54 人	1 人	平成30年度	1 人	1 人	[他の研究科への転出(1人)]
			令和元年度	0 人	0 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
合 計		1 人		1 人	1 人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{27} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{39} = \boxed{0} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{54} = \boxed{1.85} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<教育学研究科 総合教育科学専攻 博士後期課程>

(1) -① 授業科目表

【事前伺い時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	情報リテラシー	1前		1		3	2		3		兼1 兼1
	エデュフェア・マインド	1前		1		2	4				
	国際教育論Ⅰ	1-2前		2							
	国際教育論Ⅱ	1-2後		2							
	海外研究活動Ⅰ	1-2前		1		19	22				
	海外研究活動Ⅱ	1-2後		1		19	22				
	院生プロジェクト研究	1-2-3期		1		1			2		
	生涯教育科学特別研究Ⅰ	1通		2		3	4				
	生涯教育科学特別研究Ⅱ	2通		2		3	4				
	教育政策科学特別研究Ⅰ	1通		2		2	4				
	教育政策科学特別研究Ⅱ	2通		2		2	4				
	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	1通		2		2	2	1	1		
	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	2通		2		2	2	1	1		
	教育情報アセスメント特別研究Ⅰ	1通		2		6	4				
	教育情報アセスメント特別研究Ⅱ	2通		2		6	4				
	教育心理学特別研究Ⅰ	1通		2		3	3				
	教育心理学特別研究Ⅱ	2通		2		3	3				
	臨床心理学特別研究Ⅰ	1通		2		2	3				
	臨床心理学特別研究Ⅱ	2通		2		2	3				
	特定研究論文Ⅰ	1通	2			19	22				
	特定研究論文Ⅱ	2通	2			19	22				
小計(21科目)	-		4	33		19	22	1	6		兼1
合計(21科目)	-		4	33		19	22	1	6		兼1
修了要件及び履修方法											
必修科目4単位と選択科目5単位以上を修得し、博士論文執筆資格試験に合格し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	情報リテラシー	1前		1		3	2		2		兼1 兼1
	エデュフェア・マインド	1前		1		2	7				
	国際教育論Ⅰ	1-2前		2							
	国際教育論Ⅱ	1-2後		2							
	海外研究活動Ⅰ	1-2前		1		17	23				
	海外研究活動Ⅱ	1-2後		1		17	23				
	院生プロジェクト研究	1-2-3期		1		1			3		
	生涯教育科学特別研究Ⅰ	1通		2		2	4				
	生涯教育科学特別研究Ⅱ	2通		2		2	4				
	教育政策科学特別研究Ⅰ	1通		2		2	3				
	教育政策科学特別研究Ⅱ	2通		2		2	3				
	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	1通		2		1	5				
	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	2通		2		1	5				
	教育情報アセスメント特別研究Ⅰ	1通		2		7	5				
	教育情報アセスメント特別研究Ⅱ	2通		2		7	5				
	教育心理学特別研究Ⅰ	1通		2		3	3				
	教育心理学特別研究Ⅱ	2通		2		3	3				
	臨床心理学特別研究Ⅰ	1通		2		2	3				
	臨床心理学特別研究Ⅱ	2通		2		2	3				
	特定研究論文Ⅰ	1通	2			17	23				
	特定研究論文Ⅱ	2通	2			17	23				
小計(21科目)	-		4	33		17	23		5		兼2
合計(21科目)	-		4	33		17	23		5		兼2
修了要件及び履修方法											
必修科目4単位と選択科目5単位以上を修得し、博士論文執筆資格試験に合格し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。											

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	情報リテラシー	1前		1		3	2		3			
	エデュフェア・マインド	1前		1		5	6					
	国際教育論 I	1・2前		2							兼1	
	国際教育論 II	1・2後		2							兼1	
	海外研究活動 I	1・2前		1		17	23				兼1	
	海外研究活動 II	1・2後		1		17	23				兼1	
	院生プロジェクト研究	1・2・3前		1		1			2			
	生涯教育学特別研究 I	1通		2		3	4					
	生涯教育学特別研究 II	2通		2		3	4					
	教育政策科学特別研究 I	1通		2		1	4				兼1	
	教育政策科学特別研究 II	2通		2		1	4				兼1	
	グローバル共生教育論特別研究 I	1通		2		2	3					
	グローバル共生教育論特別研究 II	2通		2		2	3					
	教育情報アセスメント特別研究 I	1通		2		6	6					
	教育情報アセスメント特別研究 II	2通		2		6	6					
	教育心理学特別研究 I	1通		2		3	3					
	教育心理学特別研究 II	2通		2		3	3					
	臨床心理学特別研究 I	1通		2		2	3					
	臨床心理学特別研究 II	2通		2		2	3					
	特定研究論文 I	1通	2			17	23					兼1
	特定研究論文 II	2通	2			17	23					兼1
小計(21科目)	-	-	4	33		17	23		5		兼3	
合計(21科目)	-	-	4	33		17	23		5		兼3	

修了要件及び履修方法

必修科目4単位と選択科目5単位以上を修得し、博士論文執筆資格試験に合格し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	情報リテラシー	1前		1		3	2		3			
	エデュフェア・マインド	1前		1		4	6					
	国際教育論 I	1・2前		2							兼1	
	国際教育論 II	1・2後		2							兼1	
	海外研究活動 I	1・2前		1		18	23					
	海外研究活動 II	1・2後		1		18	23					
	院生プロジェクト研究	1・2・3前		1		1			2			
	生涯教育学特別研究 I	1通		2		3	4					
	生涯教育学特別研究 II	2通		2		3	4					
	教育政策科学特別研究 I	1通		2		2	3					
	教育政策科学特別研究 II	2通		2		2	3					
	グローバル共生教育論特別研究 I	1通		2		2	3					
	グローバル共生教育論特別研究 II	2通		2		2	3					
	教育情報アセスメント特別研究 I	1通		2		6	6					
	教育情報アセスメント特別研究 II	2通		2		6	6					
	教育心理学特別研究 I	1通		2		3	3					
	教育心理学特別研究 II	2通		2		3	3					
	臨床心理学特別研究 I	1通		2		2	3					
	臨床心理学特別研究 II	2通		2		2	3					
	特定研究論文 I	1通	2			18	23					兼2
	特定研究論文 II	2通	2			18	23					兼2
小計(21科目)	-	-	4	33		18	23		5		兼2	
合計(21科目)	-	-	4	33		18	23		5		兼2	

修了要件及び履修方法

必修科目4単位と選択科目5単位以上を修得し、博士論文執筆資格試験に合格し、かつ、必要な研究指導を受けた上で博士論文を提出し、その審査及び最終試験に合格することを修了要件とする。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教育内容の充実のため、「エデュフェア・マインド」の専任教員等の配置を「教授2、准教授4」から「教授5、准教授6」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「海外研究活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「海外研究活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育政策科学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「教育政策科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授1、兼1」に変更。
- ・講師1名及び助教1名辞退並びに教育内容の充実のため、「グローバル共生教育論特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1、助教1」から「准教授3」に変更。
- ・講師1名及び助教1名辞退並びに教育内容の充実のため、「グローバル共生教育論特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授2、講師1、助教1」から「准教授3」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「教育情報アセスメント特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・教育内容の充実のため、「教育情報アセスメント特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授4」から「准教授6」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「特定研究論文Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。
- ・事前伺い時の記載誤りのため、「特定研究論文Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授19、准教授22」から「教授17、准教授23、兼1」に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、「エデュフェア・マインド」の専任教員等の配置を「教授5」から「教授4」に変更。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名採用及び兼担講師1名就任辞退のため、「海外研究活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授17、准教授23、兼1」から「教授18、准教授23」に変更。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名採用及び兼担講師1名就任辞退のため、「海外研究活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授17、准教授23、兼1」から「教授18、准教授23」に変更。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名採用及び兼担講師1名就任辞退のため、「教育政策科学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授4、兼1」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名採用及び兼担講師1名就任辞退のため、「教育政策科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授4、兼1」から「教授2、准教授3」に変更。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名採用及び兼担講師1名就任辞退のため、「特定研究論文Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授17、准教授23、兼1」から「教授18、准教授23」に変更。
- ・准教授から教授への昇任、准教授1名採用及び兼担講師1名就任辞退のため、「特定研究論文Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授17、准教授23、兼1」から「教授18、准教授23」に変更。

【令和2年度】

- ・助教1名退職のため、「情報リテラシー」の専任教員等の配置を「助教3」から「助教2」に変更。
- ・教授1名退職、担当教員見直し及び事前伺い時の記載誤りのため、「エデュフェア・マインド」の専任教員等の配置を「教授4、准教授6」から「教授2、准教授7」に変更。
- ・准教授から教授への昇任2名、教授1名及び准教授3名採用並びに教授4名及び准教授1名退職のため、「海外研究活動Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授18」から「教授17」に変更。
- ・准教授から教授への昇任2名、教授1名及び准教授3名採用並びに教授4名及び准教授1名退職のため、「海外研究活動Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授18」から「教授17」に変更。
- ・助教1名退職及び助教2名採用のため、「院生プロジェクト研究」の専任教員等の配置を「助教2」から「助教3」に変更。
- ・准教授1名採用並びに教授1名及び准教授1名退職のため、「生涯教育科学特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・准教授1名採用並びに教授1名及び准教授1名退職のため、「生涯教育科学特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授3」から「教授2」に変更。
- ・准教授1名採用、教授1名退職及び教育内容の充実のため、「グローバル共生教育論特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授1、准教授5」に変更。
- ・准教授1名採用、教授1名退職及び教育内容の充実のため、「グローバル共生教育論特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授2、准教授3」から「教授1、准教授5」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「教育情報アセスメント特別研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授6」から「教授7、准教授5」に変更。
- ・准教授から教授への昇任のため、「教育情報アセスメント特別研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授6」から「教授7、准教授5」に変更。
- ・准教授から教授への昇任2名、教授1名及び准教授3名採用並びに教授4名及び准教授1名退職のため、「特定研究論文Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授18」から「教授17」に変更。
- ・准教授から教授への昇任2名、教授1名及び准教授3名採用並びに教授4名及び准教授1名退職のため、「特定研究論文Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授18」から「教授17」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	19 科目	0 科目	21 科目	2 科目 [0]	19 科目 [0]	0 科目 [0]	21 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{21} = \boxed{0\%}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考	
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
校 地 等	校舎敷地	21,917,049㎡ 21,915,365㎡ 22,010,146㎡	0㎡	0㎡	21,917,049㎡ 21,915,365㎡ 22,010,146㎡	購入のため(2) 一部売却のため(元)	
	運動場用地	132,573㎡	0㎡	0㎡	132,573㎡		
	小 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡ 22,142,719㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡ 22,142,719㎡		
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡		
	合 計	22,049,622㎡ 22,047,938㎡ 22,142,719㎡	0㎡	0㎡	22,049,622㎡ 22,047,938㎡ 22,142,719㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		
		1,119,573㎡ 1,121,513㎡ 1,152,992㎡	0㎡	0㎡	1,119,573㎡ 1,121,513㎡ 1,152,992㎡	一部取り壊しのため(2) 一部取り壊しのため(元)	
		(1,152,992㎡)	(0㎡)	(0㎡)	(1,152,992㎡)		
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
	5室	8室	8室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数			
	教育学研究科総合教育学専攻			38 39 38	室	専任教員退職のため(2) 専任教員採用のため(元)	
(5) 新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
図 書 ・ 設 備	教育学研究科総合教育学専攻	4,180,950 (1,974,780) 4,168,468 (1,974,876) 4,142,543 (1,970,596)	86,599 (42,652) 86,198 (42,422) 84,979 (42,100)	13,543 (13,528) 13,287 (13,272) 13,431 (13,416)	7,429 8,242 7,232	46,462 45,198 38,733	2,432,337 2,432,338 2,432,337
		(4,180,950 (1,974,780)) (4,168,468 (1,974,876)) (4,142,543 (1,970,596))	(86,599 (42,652)) (86,198 (42,422)) (84,979 (42,100))	(13,543 (13,528)) (13,287 (13,272)) (13,431 (13,416))	(7,429) (8,242) (7,232)	(46,462) (45,198) (38,733)	(2,432,337) (2,432,338) (2,432,337)
	計	4,180,950 (1,974,780) 4,168,468 (1,974,876) 4,142,543 (1,970,596)	86,599 (42,652) 86,198 (42,422) 84,979 (42,100)	13,543 (13,528) 13,287 (13,272) 13,431 (13,416)	7,429 8,242 7,232	46,462 45,198 38,733	2,432,337 2,432,338 2,432,337
	(4,180,950 (1,974,780)) (4,168,468 (1,974,876)) (4,142,543 (1,970,596))	(86,599 (42,652)) (86,198 (42,422)) (84,979 (42,100))	(13,543 (13,528)) (13,287 (13,272)) (13,431 (13,416))	(7,429) (8,242) (7,232)	(46,462) (45,198) (38,733)	(2,432,337) (2,432,338) (2,432,337)	
(6) 図 書 館	面 積		閲覧座席数	収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	37,050㎡ 45,481㎡		2,554席 2,885席 2,874席	3,914,722冊 4,328,122冊 4,563,766冊		一部改修中のため(2) 座席の新規購入及び書庫の 収容量の縮小のため(元)	
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体	
	7,024㎡		武道場				
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
経費の見積り及び 維持方法の概要	教員1人当たり研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
学生納付金以外の維持方法の概要							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和2年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		東北大学									備考	
既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和2年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
		年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
文学部	人文社会学科	4	210	—	840	学士(文学)	1.05	1.05		平9年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
教育学部	教育科学科	4	70	—	280	学士(教育学)	1.05	1.07		平10年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
法学部	法学科	4	160	—	640	学士(法学)	1.05	1.04		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
経済学部	経済学科	4	130	3年次10	540	学士(経済学)	1.04	1.03		昭24年度	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	
	経営学科	4	130	3年次10	540					昭43年度		
	計		260	20	1,080							
理学部	数学科	4	45	—	180	学士(理学)	0.97	0.97		昭24年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
	物理学科	4	78	—	312		1.00	1.00		平6年度改組・統合		
	宇宙地球物理学科	4	41	—	164					平4年度改組		
	化学科	4	70	—	280		1.07	1.00		平7年度改組・統合		
	地圏環境科学科	4	30	—	120		1.01	1.02		平4年度改組		
	地球惑星物質科学科	4	20	—	80					平4年度改組(平20年度改称)		
	生物学科	4	40	—	160		1.03	1.05		昭24年度		
	計		324	—	1,296		1.01	1.00				
医学部	医学科	6	116	—	791	学士(医学)	1.01	1.01	令和2	昭24年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	令和2年度定員変更(11)
	保健学科	4	144	—	576	学士(看護学) 学士(保健学)	1.00	0.98		平16年度改組		
	計		279	—	1,386	1.01	1.00					
歯学部	歯学科	6	53	—	318	学士(歯学)	1.00	1.00		昭40年度	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	
薬学部	創薬科学科	4	60	—	240	学士(創薬科学)	1.08	1.06		平18年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
	薬学科	6	20	—	120	学士(薬学)	1.07	1.05				
	計		80	—	360	1.07	1.06					

工学部	機械知能・航空工学科	4	234	—	936	学士 (工学)	1.01	0.95		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号		
	電気情報物理工学科	4	243	—	972		1.02	1.03		平16年度改組 (平19年度・平27年度改称)			
	化学・バイオ工学科	4	113	—	452		0.99	1.01		平16年度改組			
	材料科学総合学科	4	113	—	452		1.01	1.02					
	建築・社会環境工学科	4	107	—	428		1.00	1.01					
	計		810	—	3,240		1.01	1.00					
農学部	生物生産科学科	4	90	—	360	学士 (農学)	1.04	1.04		平4年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉468-1		
	応用生物化学科	4	60	—	240		1.04	1.04					
	計		150	—	600		1.04	1.04					
※ 複数の学科を有する学部の新卒募集は、経済学部、薬学部及び農学部にあつては学部一括で、理学部にあつては1又は複数の学科毎にそれぞれ行い、学生の所属学科は、第1年次修了時、第2年次又は第3年次に決定する。													
文学研究科	日本文学専攻	5	29	—	58	修士 (文学) 修士 (学術) 博士 (文学) 博士 (学術)	1.18	1.24	令和元	令和元年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	学生数は、上段が前期課程で、下段が後期課程である。	
		14	—	28	1.31		1.21	令和元					
	広域文化学専攻	5	29	—	58		0.84	0.68	令和元				
		12	—	24	0.95		1.16	令和元					
	総合人間学専攻	5	31	—	62		1.19	1.09	令和元				
		12	—	24	1.08		1.16	令和元					
	文化科学専攻	5	—	—	—		—	—		平11年度改組			令和元年度学生募集停止
	言語科学専攻	5	—	—	—		—	—					令和元年度学生募集停止
歴史科学専攻	5	—	—	—	—	—		平12年度改組	令和元年度学生募集停止				
人間科学専攻	5	—	—	—	—	—			令和元年度学生募集停止				
教育学研究科	総合教育科学専攻	5	45	—	90	修士 (教育学) 修士 (教育情報学) 博士 (教育学) 博士 (教育情報学)	0.93	0.91		平30年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号		
		15	—	45	1.20	1.00	平成30						
法学研究科	法政理論研究専攻	5	10	—	20	修士 (法学) 修士 (学術) 博士 (法学) 博士 (学術)	0.95	0.60		平12年度改組 (平18年度改称)	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	平成30年度定員変更(△8)	
		12	—	36	0.63	0.66							
	総合法制専攻 (法科大学院の課程)	3	50	—	150	法務博士 (専門職)	0.82	1.04		平16年度改組	宮城県仙台市青葉区片平二丁目1番1号		
公共法政策専攻 (専門職学位課程)	2	30	—	60	公共法政策修士 (専門職)	1.06	1.00						

経済学研究科	経済経営学専攻	5	60	—	110	修士 (経済学) 修士 (経営学) 修士 (学術) 博士 (経済学) 博士 (経営学) 博士 (学術)	0.80	0.53		平17年度改組	宮城県仙台市青葉区川内27番1号	令和2年度定員変更(10)
			14	—	54		0.68	0.35				令和2年度定員変更(△6)
	会計専門職専攻 (専門職学位課程)	2	40	—	80	会計修士 (専門職)	0.87	0.75		平17年度		
理学研究科	数学専攻	5	38	—	76	修士 (理学) 修士 (学術) 博士 (理学) 博士 (学術)	0.87	0.89		平7年度改組	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号	
			18	—	54		0.57	0.44				
	物理学専攻	5	91	—	182		0.88	0.84		平6年度改組		
			46	—	138		0.55	0.54				
	天文学専攻	5	9	—	18		1.11	1.22		平6年度改組		
			4	—	12		0.66	0.50				
	地球物理学専攻	5	26	—	52		1.01	0.96		平7年度改組		
13			—	39	0.56	0.46						
化学専攻	5	66	—	132	1.23	1.09		平7年度改組				
		33	—	99	0.55	0.48						
地学専攻	5	32	—	64	1.19	1.18		平6年度改組				
		16	—	48	0.51	0.37						
医学系研究科	医科学専攻 (修士課程)	2	30	—	60	修士 (医科学) 修士 (学術)	1.16	1.00		平15年度改組	宮城県仙台市青葉区星陵町2番1号	平成30年度定員変更(△2)
	医科学専攻 (博士課程)	4	130	—	520	博士 (医学) 博士 (学術)	1.09	1.01		平9年度改組		
	障害科学専攻	5	20	—	40	修士 (障害科学) 修士 (学術) 博士 (障害科学) 博士 (学術)	0.82	0.65		平6年度改組		
			9	—	27	1.14	0.33		平8年度改組			
	保健学専攻	5	32	—	64	修士 (看護学) 修士 (保健学) 修士 (学術) 博士 (看護学) 博士 (保健学) 博士 (学術)	1.20	1.25		平20年度改組		
12			—	36	1.11	1.00		平22年度改組				
公衆衛生学専攻 (修士課程)	2	10	—	20	修士 (公衆衛生学)	1.15	1.20		平27年度			
歯学研究科	歯科学専攻 (修士課程)	2	8	—	14	修士 (口腔科学) 修士 (学術)	1.06	1.12		平16年度	宮城県仙台市青葉区星陵町4番1号	令和2年度定員変更(2)
	歯科学専攻 (博士課程)	4	42	—	168	博士 (歯学) 博士 (学術)	0.94	0.73		平12年度改組		

薬学研究科	分子薬科学専攻	5	22	—	44	修士 (薬科学)	1.26	1.22	平22年度	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番3号
			8	—	24		修士 (学術)	0.66		
	生命薬科学専攻	5	32	—	64	博士 (薬科学)	0.96	0.87		
			10	—	30		博士 (学術)	0.73	1.00	
医療薬学専攻 (博士課程)	4	4	—	16	博士 (薬学)	0.50	0.75	平24年度		
工学部	機械機能創成専攻	5	42	—	84	修士 (工学)	1.39	1.45	平7年度改組(平16年度改称・平28年度改称)	宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6番6号
			10	—	30		修士 (学術)	1.23		
	ファインメカニクス専攻	5	45	—	90		1.10	0.93		
			11	—	33		0.45	0.18		
	ロボティクス専攻	5	42	—	84		0.88	0.69	平15年度(平28年度改称)	
			11	—	33		0.69	0.36		
	航空宇宙工学専攻	5	42	—	84		1.51	1.42	平7年度改組	
			11	—	33		1.05	1.09		
	量子エネルギー工学専攻	5	38	—	76		1.12	1.10	昭33年度(平8年度改称)	
			11	—	33		0.84	0.63		
	電気エネルギーシステム専攻	5	32	—	64		1.18	1.31	平24年度	
			8	—	24		0.29	0.25		
	通信工学専攻	5	31	—	62		1.43	1.29	平24年度	
			8	—	24		0.91	0.75		
	電子工学専攻	5	51	—	102		0.87	0.88	昭28年度	
			15	—	45		0.26	0.20		
	応用物理学専攻	5	32	—	64		0.93	0.78	昭28年度	
			11	—	33		0.72	0.54		
	応用化学専攻	5	26	—	52		0.93	0.76	昭28年度	
			8	—	24		0.70	0.37		
化学工学専攻	5	34	—	68	1.05	1.05	昭40年度			
		7	—	21	0.51	0.42				
バイオ工学専攻	5	19	—	38	1.21	1.21	平4年度(平16年度改称)			
		5	—	15	0.66	0.60				
金属フロンティア工学専攻	5	26	—	52	1.18	1.11	昭28年度(平16年度改称)			
		7	—	21	1.09	0.71				
知能デバイス材料学専攻	5	37	—	74	1.18	1.10	昭39年度(昭62年度・平16年度改称)			
		10	—	30	1.16	0.70				
材料システム工学専攻	5	30	—	60	1.13	1.06	昭44年度(平9年度・平16年度改称)			
		8	—	24	0.91	0.75				
土木工学専攻	5	43	—	86	1.23	1.13	昭38年度			
		12	—	36	1.38	1.08				
都市・建築学専攻	5	45	—	90	1.16	1.15	昭38年度(平8年度改称)			
		8	—	24	1.28	0.87				
技術社会システム専攻	5	21	—	42	1.11	1.14	平14年度			
		13	—	39	0.32	0.30				

農学研究科	資源生物科学専攻	5	36	—	72	修士 (農学) 修士 (学術) 博士 (農学) 博士 (学術)	1.30	1.22	平15年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1		
			13	—	39		0.99	0.76				
	応用生命科学専攻	5	35	—	70		1.15	1.08				
			13	—	39		0.50	0.30				
生物産業創成科学 専攻	5	38	—	76	1.28	1.36						
		11	—	33	1.14	0.63						
国際文化研究科	国際文化研究専攻	5	35	—	70	修士 (国際文化) 修士 (学術) 博士 (国際文化) 博士 (学術)	0.90	1.00	平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区川内41		
			16	—	48		0.74	0.43				
情報科学研究科	情報基礎科学専攻	5	38	—	76	修士 (情報科学) 修士 (学術) 博士 (情報科学) 博士 (学術)	0.97	1.00	平5年 度	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉6 番3号		
			11	—	33		0.57	0.27				
	システム情報科学 専攻	5	37	—	74		1.25	1.24				
			11	—	33		1.26	0.81				
人間社会情報科学 専攻	5	30	—	60	0.68	0.56						
		10	—	30	0.80	1.00						
応用情報科学専攻	5	35	—	70	1.35	1.22						
		10	—	30	0.66	0.50						
生命科学研究科	脳生命統御科学専 攻	5	36	—	72	修士 (生命科学) 修士 (学術) 博士 (生命科学) 博士 (学術)	0.85	0.77	平30年 度改組	宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号		
			10	—	30		0.50	0.40				平成30
	生態発生活適応科学 専攻	5	35	—	70		0.78	0.62				
			10	—	30		0.80	0.60				平成30
分子化学生物学専 攻	5	35	—	70	1.22	1.22						
		10	—	30	0.70	0.70	平成30					
環境科学研究科	先進社会環境学専 攻	5	40	—	80	修士 (環境科学) 修士 (学術) 博士 (環境科学) 博士 (学術)	1.11	1.05	平27年 度改組	宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 468-1		
			13	—	39		1.07	0.38				
	先端環境創成学専 攻	5	60	—	120		0.93	0.91				
			20	—	60		0.60	0.50				
医工学研究科	医工学専攻	5	39	—	78	修士 (医工学) 修士 (学術) 博士 (医工学) 博士 (学術)	1.17	1.05	平20年 度	宮城県仙台市青 葉区星陵町2番1 号 宮城県仙台市青 葉区荒巻字青葉 6番6号 宮城県仙台市青 葉区片平二丁目1 番1号	平成30年度定員 変更(2)	
			12	—	36		1.05	1.00				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和2年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学研究科 総合教育科学専攻 博士後期課程>

(1) - ① 担当教員表

【事前伺い時】

		【平成30年度】		【令和元年度】		【令和2年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
専	教授	高橋 満 (62) <平成30年4月> 博士(教育学)	高橋 満 (63) <平成30年4月> 博士(教育学)	高橋 満 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)			
		エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ グローバル共生教育論特別研究Ⅰ グローバル共生教育論特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			
専	教授	笹田 博通 (62) <平成30年4月> 博士(教育学)	笹田 博通 (63) <平成30年4月> 博士(教育学)	笹田 博通 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)			
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			
専	教授	八嶽 友広 (56) <平成30年4月> 博士(教育学)	八嶽 友広 (57) <平成30年4月> 博士(教育学)	八嶽 友広 (58) <平成30年4月> 博士(教育学)			
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 院生プロジェクト研究 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 院生プロジェクト研究 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	甲斐 健人 (52) <平成30年4月> 博士(体育科学)	甲斐 健人 (53) <平成30年4月> 博士(体育科学)	甲斐 健人 (54) <平成30年4月> 博士(体育科学)			
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 生涯教育科学特別研究Ⅰ 生涯教育科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	宮護 英一 (63) <平成30年4月> 博士(教育学)	宮護 英一 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)				
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ				
兼任	講師	宮護 英一 (63) <平成31年4月> 博士(教育学)	宮護 英一 (64) <平成31年4月> 博士(教育学)				
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ	海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	福田 亘孝 (53) <平成30年4月> Ph. D.	専	教授	福田 亘孝 (54) <平成30年4月> Ph. D.	専	教授	福田 亘孝 (55) <平成30年4月> Ph. D.	専	教授	福田 亘孝 (56) <平成30年4月> Ph. D.
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育政策科学特別研究Ⅰ 教育政策科学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	本郷 一夫 (62) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	本郷 一夫 (63) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	本郷 一夫 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)			
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			
専	教授	工藤 与志文 (54) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	工藤 与志文 (55) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	工藤 与志文 (56) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	工藤 与志文 (57) <平成30年4月> 博士(教育学)
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	野口 和人 (55) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	野口 和人 (56) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	野口 和人 (57) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	野口 和人 (58) <平成30年4月> 博士(教育学)
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ エデュフェア・マインド 海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 院生プロジェクト研究 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 院生プロジェクト研究 教育心理学特別研究Ⅰ 教育心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ
専	教授	上笠 高志 (62) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	上笠 高志 (63) <平成30年4月> 博士(医学)	専	教授	上笠 高志 (64) <平成30年4月> 博士(医学)			
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			
専	教授	加藤 道代 (61) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	加藤 道代 (62) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	加藤 道代 (63) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	教授	加藤 道代 (64) <平成30年4月> 博士(教育学)
		海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ			海外研究活動Ⅰ 海外研究活動Ⅱ 臨床心理学特別研究Ⅰ 臨床心理学特別研究Ⅱ 特定研究論文Ⅰ 特定研究論文Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	渡部 由紀 (47) <平成30年4月> Ph. D.	専	准教授	渡部 由紀 (48) <平成30年4月> Ph. D.	専	准教授	渡部 由紀 (49) <平成30年4月> Ph. D.	専	准教授	渡部 由紀 (50) <平成30年4月> Ph. D.
		海外研究活動 I 海外研究活動 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II
		特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II
専	准教授	松林 優一郎 (35) <平成31年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	松林 優一郎 (36) <平成31年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	松林 優一郎 (37) <平成31年4月> 博士(情報理工学)	専	准教授	松林 優一郎 (38) <平成31年4月> 博士(情報理工学)
		海外研究活動 I 海外研究活動 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II 教育情報アセスメント特別研究 I 教育情報アセスメント特別研究 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II 教育情報アセスメント特別研究 I 教育情報アセスメント特別研究 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II 教育情報アセスメント特別研究 I 教育情報アセスメント特別研究 II
		特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II
専	准教授	佐藤 智子 (38) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	准教授	佐藤 智子 (39) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	准教授	佐藤 智子 (40) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	准教授	佐藤 智子 (41) <平成30年4月> 博士(教育学)
		海外研究活動 I 海外研究活動 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II 教育情報アセスメント特別研究 I 教育情報アセスメント特別研究 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II 教育情報アセスメント特別研究 I 教育情報アセスメント特別研究 II			海外研究活動 I 海外研究活動 II 教育情報アセスメント特別研究 I 教育情報アセスメント特別研究 II
		特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II
						専	准教授	劉 靖 (37) <平成31年4月> 博士(国際開発学)	専	准教授	劉 靖 (38) <平成31年4月> 博士(国際開発学)
								海外研究活動 I 海外研究活動 II			エデュフェア・マインド 海外研究活動 I 海外研究活動 II グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II
								特定研究論文 I 特定研究論文 II			特定研究論文 I 特定研究論文 II
											鷺谷 洋輔 (37) <令和2年4月> Ph. D.
											海外研究活動 I 海外研究活動 II 生涯教育科学特別研究 I 生涯教育科学特別研究 II 特定研究論文 I 特定研究論文 II
											前田 駿太 (29) <令和2年4月> 博士(人間科学)
											海外研究活動 I 海外研究活動 II 臨床心理学特別研究 I 臨床心理学特別研究 II 特定研究論文 I 特定研究論文 II
											松本 大 (42) <令和2年6月> 博士(教育学)
											海外研究活動 I 海外研究活動 II グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II 特定研究論文 I 特定研究論文 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	講師	陳 思聡 (34) <平成30年4月> 博士(人間科学)									
		グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II									
専	助教	清水 禎文 (54) <平成30年4月> 教育学修士									
		グローバル共生教育論特別研究 I グローバル共生教育論特別研究 II									
専	助教	内藤 隆史 (58) <平成30年4月> 修士(教育学)	専	助教	内藤 隆史 (59) <平成30年4月> 修士(教育学)	専	助教	内藤 隆史 (60) <平成30年4月> 修士(教育学)	専	助教	内藤 隆史 (61) <平成30年4月> 修士(教育学)
		院生プロジェクト研究			院生プロジェクト研究			院生プロジェクト研究			院生プロジェクト研究
専	助教	爲川 雄二 (46) <平成30年4月> 博士(教育情報学)	専	助教	爲川 雄二 (47) <平成30年4月> 博士(教育情報学)	専	助教	爲川 雄二 (48) <平成30年4月> 博士(教育情報学)			
		情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー			
専	助教	大河 雄一 (42) <平成30年4月> 博士(情報科学)	専	助教	大河 雄一 (43) <平成30年4月> 博士(情報科学)	専	助教	大河 雄一 (44) <平成30年4月> 博士(情報科学)	専	助教	大河 雄一 (45) <平成30年4月> 博士(情報科学)
		情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー
専	助教	尹 得霞 (38) <平成30年4月> 博士(教育情報学)	専	助教	尹 得霞 (39) <平成30年4月> 博士(教育情報学)	専	助教	尹 得霞 (40) <平成30年4月> 博士(教育情報学)	専	助教	尹 得霞 (41) <平成30年4月> 博士(教育情報学)
		情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー			情報リテラシー
専	助教	南 紅玉 (39) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	助教	南 紅玉 (40) <平成30年4月> 博士(教育学)	専	助教	南 紅玉 (41) <平成30年4月> 博士(教育学)			
		院生プロジェクト研究			院生プロジェクト研究			院生プロジェクト研究			
									専	助教	ダグワドルジ・アディアニヤム (45) <令和2年4月> 博士(教育学)
											院生プロジェクト研究
									専	助教	松本 恵美 (33) <令和2年4月> 博士(教育学)
											院生プロジェクト研究
兼任	講師	姜 大仲 (45) <平成30年8月> Ph. D.	兼任	講師	姜 大仲 (46) <平成30年8月> Ph. D.	兼任	講師	姜 大仲 (47) <平成30年8月> Ph. D.			
		国際教育論 I			国際教育論 I			国際教育論 I			
兼任	講師	Chen Chen (45) <平成31年1月> Ph. D.							兼任	講師	Chen Chen (48) <令和2年9月> Ph. D.
		国際教育論 II									国際教育論 II
			兼任	講師	祝 瑛 (59) <平成31年2月> Ph. D.	兼任	講師	祝 瑛 (60) <平成31年2月> Ph. D.			
					国際教育論 II			国際教育論 II			

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当教員見直しのため、笹田博通教授、八鍬友広教授、甲斐健人教授、後藤武俊准教授、渡部由紀准教授、松林雄一郎准教授及び佐藤智子准教授の授業担当科目を追加
- ・陳思聡講師就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。後任は平成31年4月1日採用予定で選考中。
- ・清水禎文助教就任辞退。他に担当教員がいるため支障なし。後任補充は未定。
- ・Chen Chen講師就任辞退により、祝瑛講師に変更。

【令和元年度】

- ・担当教員見直しのため、笹田博通教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、八鍬友広教授の授業担当科目を削除。
- ・平成31年3月宮腰英一兼任講師就任辞退。「海外研究活動Ⅰ」、「海外研究活動Ⅱ」、「教育政策科学特別研究Ⅰ」、「教育政策科学特別研究Ⅱ」、「特定研究論文Ⅰ」、「特定研究論文Ⅱ」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、野口和人教授の授業科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、青木栄一准教授の授業担当科目を追加。
- ・担当教員見直しのため、井本佳宏准教授の授業担当科目を削除。
- ・平成31年4月島一則准教授を教授に昇任。
- ・平成31年4月劉靖准教授就任。

【令和2年度】

- ・高橋満教授退職により、松本大准教授に変更。「エデュフェア・マインド」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・笹田博通教授退職。「海外研究活動Ⅰ」、「海外研究活動Ⅱ」、「生涯教育科学特別研究Ⅰ」、「生涯教育科学特別研究Ⅱ」、「特定研究論文Ⅰ」、「特定研究論文Ⅱ」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・担当教員見直しのため、甲斐健人教授の授業担当科目を削除。
- ・本郷一夫教授退職により、長谷川真里教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、野口和人教授の授業担当科目を削除。
- ・上益高志教授退職により、前田駿太准教授に変更。
- ・市毛哲夫准教授退職により、鷲谷洋輔准教授に変更。
- ・担当教員見直しのため、青木栄一准教授の授業担当科目を削除。
- ・担当教員見直しのため、島一則教授及び神谷哲司准教授の授業担当科目を追加。
- ・若島孔文准教授及び宮本友弘准教授を教授に昇任。
- ・担当教員見直し及び教育内容の充実のため、劉靖准教授の授業担当科目を追加。
- ・爲川雄二助教退職。「情報リテラシー」は他に担当教員がいるため支障なし。
- ・南紅玉助教退職により、ダグワドルジ・アディアニヤム助教に変更。
- ・令和2年4月松本恵美助教就任。
- ・姜大仲講師退職により、陳榮政講師に変更。
- ・祝瑛講師退職により、Chen Chen講師に変更。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（平成30年度開設であれば平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学院】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
19	22	1	6	48	0	17	22	0	5	44	0
(17)	(22)	(0)	(5)	(44)	(0)						
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
42	6	0				39	5	0			
(39)	(5)	(0)									
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
17	23	0	5	45	0	17	23	0	5	45	0
[Δ2]	[1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ3]	[0]	[Δ2]	[1]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ3]	[0]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数	/		
40	5	0				40	5	0			
[Δ2]	[Δ1]	[0]				[Δ2]	[Δ1]	[0]			

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受理済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{45}{48} = \boxed{93.75} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{0}{44} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	陳 思聡	H30.3	選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	①	H30.3他大学に採用のため就任辞退（30）			
				選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	①				
2	助教	清水 禎文	H30.3	選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	①	H30.3他大学に採用のため就任辞退（30）			
				選択	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	4	科目	選択	4	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	4	科目	計	4	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	助教	為川 雄二	R2.3	必修	情報リテラシー	③	R2.3.31付け他大学に就職のため辞任（2）			
2	助教	南 紅玉	R2.3	選択	院生プロジェクト研究	①	R2.3.31付け任期満了のため辞任（2）			
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	1	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）					後任補充状況の集計（E）+（G）					
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
4	人	必修	1	科目	必修	0	科目	必修	1	科目
		選択	5	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	6	科目	計	5	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{4}{48} = 8.33 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由								
1	教授	宮腰 英一	選択	海外研究活動Ⅰ	①	H31.3.31付け65歳で定年退職(元)								
			選択	海外研究活動Ⅱ	①									
			必修	教育政策科学特別研究Ⅰ	③									
			必修	教育政策科学特別研究Ⅱ	③									
			必修	特定研究論文Ⅰ	①									
2	教授	高橋 満	必修	エデュフェア・マインド	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)								
			選択	海外研究活動Ⅰ	①									
			選択	海外研究活動Ⅱ	①									
			必修	グローバル共生教育論特別研究Ⅰ	①									
			必修	グローバル共生教育論特別研究Ⅱ	①									
			必修	特定研究論文Ⅰ	①									
3	教授	笹田 博道	選択	海外研究活動Ⅰ	③	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)								
			選択	海外研究活動Ⅱ	③									
			必修	生涯教育科学特別研究Ⅰ	③									
			必修	生涯教育科学特別研究Ⅱ	③									
			必修	特定研究論文Ⅰ	③									
4	教授	本郷 一夫	選択	海外研究活動Ⅰ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)								
			選択	海外研究活動Ⅱ	①									
			必修	教育心理学特別研究Ⅰ	①									
			必修	教育心理学特別研究Ⅱ	①									
			必修	特定研究論文Ⅰ	①									
			必修	特定研究論文Ⅱ	①									
5	教授	上埜 高志	選択	海外研究活動Ⅰ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)								
			選択	海外研究活動Ⅱ	①									
			必修	臨床心理学特別研究Ⅰ	①									
			必修	臨床心理学特別研究Ⅱ	①									
			必修	特定研究論文Ⅰ	①									
6	准教授	市毛 哲夫	選択	海外研究活動Ⅰ	①	R2.3.31付け65歳で定年退職(2)								
			選択	海外研究活動Ⅱ	①									
			必修	生涯教育科学特別研究Ⅰ	①									
			必修	生涯教育科学特別研究Ⅱ	①									
			必修	特定研究論文Ⅰ	①									
合計			後任補充状況の集計											
辞任した教員数			担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)			②の合計数 (b)			③の合計数 (c)		
6	人	必修	25	科目	必修	19	科目	必修	0	科目	必修	6	科目	
		選択	12	科目	選択	10	科目	選択	0	科目	選択	2	科目	
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	
		計	37	科目	計	29	科目	計	0	科目	計	8	科目	

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|--|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>「大学の所見」</p> <p>1. 次の授業科目は、当該コースを担当する教員全員で担当する科目であるため、教育上の支障は生じていない。 教育政策科学特別研究Ⅰ／教育政策科学特別研究Ⅱ</p> <p>2. 次の授業科目は、後任の教員又は他の教員が担当しているため、教育上の支障は生じていない。 情報リテラシー／エデュフェア・マインド／海外研究活動Ⅰ／海外研究活動Ⅱ／院生プロジェクト研究／生涯教育科学特別研究Ⅰ／生涯教育科学特別研究Ⅱ／グローバル共生教育論特別研究Ⅰ／グローバル共生教育論特別研究Ⅱ／教育心理学特別研究Ⅰ／教育心理学特別研究Ⅱ／臨床心理学特別研究Ⅰ／臨床心理学特別研究Ⅱ／特定研究論文Ⅰ／特定研究論文Ⅱ</p> <p>「学生への周知」 授業科目の担当教員については、シラバスに掲載し、学生が確認できるようにしている。</p>
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
	該当なし		

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学研究科 総合教育科学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

運営会議、ハラスメント防止対策委員会
公正な研究活動推進委員会

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

<運営会議>

平成30年度及び令和元年度は、毎週火曜日を定例開催としており、平成30年度においては計41回、令和元年度においては計44回開催した。

参加者は研究科長（委員長）、副研究科長、評議員、研究科長指名教授（2名）及び事務長で、各係長が陪席している。

<ハラスメント防止対策委員会>

平成30年度、令和元年度は会議の開催は行わなかった。

令和2年度は、必要に応じて開催予定である。

構成員は研究科長（委員長）、副研究科長、教務委員会副委員長、研究科長指名教員（2名）及び事務長

<公正な研究活動推進委員会>

平成30年度、令和元年度は会議の開催は行わなかった。

令和元年度は、必要に応じて開催予定である。

構成員は副研究科長（委員長）、委員長指名教員（3名）、相談窓口担当者

c 委員会の審議事項等

<運営会議>

研究科及び学部の組織及び運営に関する事、中期目標・中期計画に関する事、概算要求に関する事、FDに関する事等

<ハラスメント防止対策委員会>

ハラスメント防止対策の企画立案に関する事、部局相談窓口の運営に関する事等

<公正な研究活動推進委員会>

研究倫理教育及び研修の実施に関する事、研究倫理に関する相談及び助言に関する事、研究データの保存及び管理に関する事等

② 実施状況

a 実施内容

【平成30年度】

- ・研究倫理に関するFD（公正な研究活動推進委員会委員長の企画により実施。利益相反、個人情報保護、データ管理、研究不正行為、著作権等、研究倫理全般に関する理解を深めた。）
- ・留学生のキャリア支援に関するFD（運営会議の企画により実施。留学生に関する施策の現状、企業等の留学生採用の動向等を説明した。）
- ・AED講習会（運営会議の企画により実施。AEDの使用方法を学ぶため、実際に器具や人体模型を用いて、講習会を行った。）
- ・ハラスメント防止対策FD（ハラスメント防止対策委員長の企画により実施。倫理、ハラスメントとの関わり、学生指導に当たって注意すべきことについて学んだ。）

【令和元年度】

- ・FD「Scopusの教育研究への活動」（運営会議の企画により実施。エルゼビア社の学術論文データベース「Scopus」の効果的な使用法について説明した。）
- ・キャリア支援に関するFD（運営会議の企画により実施。博士課程・ポスドクの進学・就職の状況を説明し、本学におけるキャリア支援の取組について学んだ。）
- ・研究倫理に関するFD（公正な研究活動推進委員会委員長の企画により実施。本学で公開している動画教材を視聴することにより、研究倫理について学んだ。）
- ・ハラスメント防止対策FD（ハラスメント防止対策委員長の企画により実施。セクシュアル・ハラスメントにテーマを絞り、実際の判例を踏まえつつ、セクハラの原因、防止策、実際にセクハラが発生したときの対処法等について学んだ。）

b 実施方法

【平成30年度】

- ・研究倫理に関するFD（本研究科副研究科長を講師として、講義形式で実施した。）
- ・留学生のキャリア支援に関するFD（学内の教員を講師として、講義形式で実施した。）
- ・AED講習会（民間企業に講師の派遣を依頼し、講義及び実践方式で実施した。）
- ・ハラスメント防止対策FD（東北大学インターネットスクール(ISTU)の動画教材を視聴した。）

【令和元年度】

- ・FD「Scopusの教育研究への活動」（研究科長及び教授を講師として、講義形式で実施した。）
- ・キャリア支援に関するFD（学内の教員を講師として、講義形式で実施した。）
- ・研究倫理に関するFD（東北大学インターネットスクール(ISTU)の動画教材を視聴した。）
- ・ハラスメント防止対策FD（市内の法律事務所の弁護士を講師として、講義形式で実施した。）

c 開催状況（教員の参加状況含む）

【平成30年度】

- ・研究倫理に関するFD（平成30年6月20日実施。教員42名中40名参加。）
- ・留学生のキャリア支援に関するFD（平成30年9月5日実施。教員42名中35名参加。）
- ・AED講習会（平成30年11月14日実施。教員42名中33名参加。）
- ・ハラスメント防止対策FD（平成31年2月7日～27日実施。教員42名中28名参加。）

【令和元年度】

- ・FD「Scopusの教育研究への活動」（平成31年4月17日実施。教員42名中33名参加。）
- ・キャリア支援に関するFD（令和元年9月4日実施。教員42名中30名参加。）
- ・研究倫理に関するFD（令和元年9月11日～10月31日実施。教員42名中27名参加。）
- ・ハラスメント防止対策FD（令和2年3月4日実施。教員43名中34名参加。）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

令和元年度に実施したFDのうち、ハラスメント防止対策FDにおいては「権力の優位性が強いほど、ハラスメントを生じさせる危険性がある（大学はその危険性が高い）」ことについて学んだ。今後計画・実施するFDにおいても、その結果が学生の指導や授業内容に反映できるよう、その内容について工夫していきたい。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

すべての開講科目で実施。当該年度最終の講義時にアンケートを配布し、実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートによる評価結果は各教員にフィードバックし、次年度の授業内容の改善に生かしている。また、評価結果を研究科のホームページ上で公表することを検討している。

(注) ・ 「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

総合教育科学専攻については、平成30年4月に設置され、設置の趣旨・目的の達成に向けて設置計画に沿って取り組んでいるところである。

設置の趣旨・目的の達成状況に関する自己点検・評価等については、東北大学が毎年度実施している部局評価にあわせて、当研究科独自の自己点検評価（評価委員会所掌）においても実施する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・ 2018（平成30）年4月～2021（令和3）年3月に係る自己点検評価を2021年度に実施し、自己点検評価報告書を作成する予定である。

b 公表方法

・ 自己点検・評価報告書を刊行しHP上で公表する予定（冊子は作成しない）。

③ 認証評価を受ける計画

・ 2021（令和3）年度に評価機関の評価を受けるべく、学内で検討中

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和2年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《 aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《 aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。